

## 片岸地区復興まちづくり協議会・地権者連絡会 議事要旨

### 記

- 日時 平成28年12月6日(火)18時30分～20時30分
- 場所 南三陸国道事務所 2階大会議室
- 次第
  1. 市長からの挨拶
  2. 本日の主旨とこれまでのふりかえり
  3. 工事進捗状況及びスケジュールについて
    - ① 片岸地区復興まちづくり計画の進捗状況の概要
    - ② 宅地引渡しスケジュールについて
    - ③ 復興公営住宅について
  4. 宅地引渡し可能時期のお知らせについて
  5. 宅地品質の考え方について
  6. 土地区画整理事業の換地処分に向けたスケジュール(案)について
  7. 町界、町名の変更と住居表示について
  8. 住宅再建に係る補助制度について
  9. 片岸産業道路整備事業について
  10. 鵜住居川水門・片岸海岸防潮堤について
  11. 県道吉里吉里釜石線について
  12. 意見交換

排水路は、どういった予測に基づいて、どの位置にどのような規模で整備するのか説明してほしい。

→ 構造は、ボックスカルバートと言われる四角いトンネル状のものを利用します。  
ルートについて、片岸沢の水は、国道、鉄道、吉里吉里釜石線を横断し、説明資

料 45 頁の防潮堤の下を横断する排水路に繋がります。

2 つ目に片岸で一番水が出ると思われる不動沢の水は、区画整理区域外では現況の河川を利用し、区画整理区域内に入ったところからは大きな三面張りの水路で水を受けたいえで、既存の排水路に接続し排水する計画です。

以前、国道脇に農業用水を兼ねた水路がありましたが、区画整理事業で整備する国道や県道、市道については基本的に必ず側溝を両側に設置し、それにより水を集約して、排水を行います。

- ①防潮堤を横断して大槌湾に繋がる排水路のはけ口の設置場所は、砂が最も堆積するところである。当初計画では、そこに排水路のはけ口を造らない予定ではなかったか？
- ②排水路のはけ口の位置は、防潮堤を抜けてすぐのところまで終わるのか？それとも、海側まで伸ばすのか？
- ③排水路のはけ口は、旧船場の 1 箇所のみか？

- ①排水路のはけ口の設置場所は、背後にある沢の位置など地形を確認し、水の集中する箇所を見極めて決定しました。砂が堆積し、はけ口が塞がらないよう、しっかり管理を行います。
- ②砂がどのように定着するか、それによって防潮堤を横断した後の排水路のはけ口をどこまで伸ばすかなど、今後、専門家や地元の皆さまと相談し、慎重に検討してまいります。
- ③旧船場と片岸公園計画予定地の 2 箇所になります。

この前の台風で、道地沢の水により大冠水になった。この原因や対策について、教えてもらいたい。

- 現在工事を行っている排水路が完成した後、排水路を開放するため水が流れますので、少々お待ちください。

台風による冠水被害の 1 つの原因としては、まだ造成工事が完成していないことにより、嵩上げされている箇所とされていない箇所があったことにより、国道などの低いところに水が集中したことが原因と考えられます。現在はその対策として、仮設の排水設備を設置しております。

片岸地区の JR 山田線より山側の市街地は、東日本大震災以降、地盤沈下により震災前に増して、水の溜まり方がひどい状況です。その対策としては、復興事業により平均 1m の内水排除嵩上げを行うため、従来より水の溜まり方が改善されると思われます。

- ①インターチェンジの道路沿いに水路があり、現在、下流側は使用されていない。雨が降ると、上流の方から水が流れて来るが、どのようにして水の処理を行うのか？
- ②インターチェンジ周辺で計画している水路底部部が、鶴住居川より低いいため、心配である。

- ①区画整理事業の計画では、道路排水と農業排水を兼ねた排水路を、インター線の交差点部を横断し、区画道路の脇を通り、鉄道を横断させるルートを計画しております。
- ②インターチェンジ周辺の水を直接、鵜住居川に排水できれば良いのですが、高さの関係で排水できないため、現在計画している片岸公園と合わせて排水対策を考えております。

片岸公園について、具体的にどのような公園を造ろうとしているのか？

- 現在、用地取得を行うための準備を進めております。  
整備計画については、今後、皆さまと協議して進めてまいります

現在計画している片岸公園の位置は、かつて真水と海水が混じり合う沼地であった。そのようなものを再現した公園とするのか？

- まずは、用地取得を進め、区域を設定してから公園の計画を考えていきます。片岸公園の広さは、約 6.1ha を計画しております。

ゴミ箱の設置は、市で負担してもらえるのか？

- 町内会負担無しで、市が購入したものを町内会へお貸しする形で考えております。  
設置数に関しては、震災前の数を確保できないかもしれませんが、必要数を算出し、効率的な配置を考えて行ってまいります。  
どこにどのくらいの間隔でゴミ箱を設置するかなどを検討し、地元の皆さまと相談しながら進めてまいりたいと思います。

街路灯等の設置場所を、町内会と相談して進めて頂きたい。

- (市長) 街路灯や防犯灯の設置については、これまでは町内会で行うものまたは市が行うものが混在しております。  
設置場所等を町内会と相談しながら、皆さまのご負担が生じない方法で設置できるよう今後検討してまいります。

①町名の変更は、片岸町だけでなく、近隣の鵜住居町や両石町、箱崎町などと一体となって、相談しながら進めることが必要であると思われる。

また、区画整理事業区域外のお宅も考慮した上で、慎重に進めてもらいたい。

②市が事前検討を行い原案を作成し、主導して進めてもらいたい。

- 区画整理事業区域外の地域も含めて、説明資料 35 頁のスケジュールのとおり、平成 29 年度に入りましたら、地元の方々と調整しながら進めてまいります。  
また、市が変更案を作成したうえで、地元説明会を開催します。

片岸地区は水が豊富であるため、かつては国道沿いの水路や井戸を利用して、消火活動を行っていた。当初、地下水を利用した防火水槽を設置するという話であったが、検討は進んでいるのか。

→ 設置箇所については、消防水利の設置基準に則って、防火水槽と消火栓が住宅地を網羅できるように配置する計画です。

以前よりアドバイス頂いている不動沢の地下水や井戸水を利用した消防水利については、現在、市とURにおいてどのような形で設けるか検討し、地元の皆さまと一緒に設置場所を決めていきたいと思えます。

現在、国道工事は、小廟坂付近と大浜渡橋付近の2箇所で行われているが、完成時期はいつごろになるのか教えて頂きたい。

→ ようやく用地の引渡しを終え、工事着手したばかりの場所もあり、具体的なスケジュールはまだお示しできませんが、今年度内にはすべて開通する予定です。

鵜住居や片岸では、日々、工事の関係で道路の位置が変わっているが、入り口などの表示をもっと、はっきり分かるようにして頂きたい。

→ 分かりやすい表示になるよう、心掛けたいと思えます。

(市長) : 本日は、ありがとうございました。

色々なご意見を頂きましたが、持ち帰って検討し、次回のまちづくり協議会でご回答できるようにしたいと思います。

1つは、排水路の出口に関する話をしっかりとお答えできるように致します。砂浜が堆積することが問題に挙がりましたが、根浜地区の砂浜についての議論と併せて検討し、解決できるようにしたいと思います。

それから、片岸公園の活用について、十分に議論を重ねてまいりたいと思えます。

住居表示については、各区画整理事業地域において、これから議論を重ねて行くこととなりますが、非常に大きなテーマになると思えます。審議会を立ち上げ、広域的に議論を行い、その後議会でご理解を頂いてまいります。釜石市では、区画整理を行っていないところ、住居表示を実施していないところがたくさんあり、このような機会に全市的に行いたいと言う気持ちはありますが、まずは今回の復興事業の区画整理事業地域についてしっかりと検討したいと思います。

また、防火水槽についても、しっかりとお答えできるようにしてまいります。

最後に明るい話として、三陸国道事務所の方で、来年3月までに国道が開通するという話がありました。他の地区でも、やはり国道45号の本設道路ができてからは、地域の皆さまの顔色が明るくなってきています。道路沿いの嵩上げ工事も進展が見られるようになりますので、非常に大きな節目になると思えます。そのような意味で、片岸地区では来年3月までには新たな展開が期待できる時期を迎えられると思えます。また、そうなるように、我々も一生懸命頑張ってまいります。

本日は、復興公営住宅が4ヶ月遅れると説明いたしましたが、大変申し訳ございませんでした。それ以外のことについては、スケジュール通り工事が進められるよう、努力してまいります。

本日は、三陸国道事務所や岩手県、URの皆さまがお出でですが、市は現在、復興事業の調整会議を開催し、意見交換を行いながら進めております。今後は、遅れが無いようにしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、ありがとうございました。

(閉会 20 : 30)

以上